

農林水産大臣

坂本 哲志 殿

太平洋クロマグロの漁獲枠拡大等
に関する

要 望 書

青 森 県

津軽海峡をはじめとして、本県の良好な漁場で漁獲される脂の乗った高品質なクロマグロは、築地市場や豊洲市場の初競りにおいて13年連続で最高値を付けるなど、全国的なブランドとなっており、地域経済を支える重要な特産品となっています。

このクロマグロについては、乱獲による資源量の減少を受けて、平成27年から国際的に厳格な資源管理が行われてきた中、本県において、資源管理制度の根幹を揺るがす漁獲報告義務違反が判明したことを踏まえ、県としては、二度と発生させることのないよう、引き続き漁業者をはじめ関係者の指導を徹底しているところです。

一方で、この厳格な資源管理によりクロマグロ資源の回復を実感しているものの、漁獲量の制限や混獲時の放流作業等により、本県のクロマグロ漁業者は非常に厳しい経営を強いられる現状にあり、クロマグロ漁業の発展に向けて、速やかな漁獲枠の拡大に期待しているところです。

つきましては、このような状況を十分考慮いただき、次の事項について特段の御配慮をお願いします。

- 1 7月のWCPFC北小委員会で合意された漁獲枠の増枠案について、引き続き関係各国との交渉を進め、12月の年次会合での正式採択を実現すること
- 2 クロマグロ混獲回避取組支援事業について、資源の回復に伴って放流作業時間が増加していくことが見込まれることから、支援単価を見直しするとともに、必要な予算を確保すること
- 3 漁業収入安定対策事業「積立ぷらす」について、掛金の追加補助と下げ止め措置を継続するとともに、必要な予算を確保すること
- 4 クロマグロの漁獲管理を強化する漁業法と水産流通適正化法の改正施行について、漁業者や流通関係者等への制度周知と体制整備に向けた必要な支援を行うこと
- 5 クロマグロ資源の回復により、イカ釣り漁業者が影響を受けているとの情報があることから、他の漁業種類への影響を調査し、評価すること

令和6年9月4日

青森県知事

宮 下 宗一郎